

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		林道清掃管理業務委託事業						事業区分		担当		
								新規/継続	継続	事務事業No.	040105000798	
政策体系上の位置付け								単独/補助	単独	所属課	050101	
政策体系	総合計画の施策名		0401	農林業の振興							農林課	
	政策名		04	活力ある産業のまちづくり						課長名		
	施策名		01	農林業の振興						グループ		
	手段名		05	⑤森林(里山)の保全と魅力づくり						担当者名		
財務会計上の位置付け								事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計					
	01	06	02	03	01	00	林道整備事業					
法令根拠								➡ 単年度繰返し (平成17年度～) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要		(2) 担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	市内21路線の林道について除草作業の設計・委託を行い、通行者の安全及び交通事故の軽減を図る。 ○岩瀬地内（11路線） 14,357m×2m=28,714㎡ ○大和地内（2路線） 4,986m×2m=9,972㎡ ○真壁地内（7路線） 17,945m×2m=35,890㎡ ○筑波綾線（1路線） 11,891m×2m=23,782㎡ 合計 21路線 総延長49,179m 除草面積 98,358㎡ ※久原・富谷線は森林公園等清掃管理業務委託事業で施行。		・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督	林道路線数	路線	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	04年度 （実績）	05年度 （実績）	06年度 （計画）	07年度 （目標）	08年度 （目標）
市内林道	総延長	m	49,179.00	49,179.00	49,179.00	49,179.00	49,179.00
	除草面積	m ²	98,358.00	98,358.00	98,358.00	98,358.00	98,358.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	04年度 （実績）	05年度 （実績）	06年度 （計画）	07年度 （目標）	08年度 （目標）
林道通行者の安全確保	林道での事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	5,962	7,006	8,500		
			事業費計（A）	千円	5,962	7,006	8,500		
	量		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)				06年度事業費 予算 (千円)			
	12 委託料	7,006			12 委託料	8,500		
			合 計	7,006			合 計	8,500

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督	・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督	・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督

事務事業名	林道清掃管理業務委託事業	事務事業No.	40105000798	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 林道の認定路線に関しては、市道と同様に担当課での維持管理が必要とされる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 事故防止や安全確保をしてほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) ☒ 結びついている 除草作業を行い、林道の維持管理を行うことで通行者の安全確保が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) ☒ 妥当である 通行者の安全を確保するため、市で林道の維持管理を行うことは妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) ☒ 向上余地がない 除草回数を増やすことで、より安全は保たれるが、財源が厳しく現状では難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) ☒ 影響有 林道が荒廃し、通行者の安全が確保されなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 類似事業はなく統廃合は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) ☒ 削減余地がない 林道全路線が対象であり、事業費も委託費のみで削減は出来ない。
効 率 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) ☒ 公正・公平である 市道同様、林道の利用者は特定できず、誰もが利用可能であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	事業内容は除草作業が主であり、利用者が安全に通行できるよう管理をしていく。 また、作業施工者と連携をとり、台風時期等の林道内巡回を行い、安全管理に努めていく。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → (複数回答可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上 維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上 維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上 維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	